

# 検証部会調査(7対1入院基本料)

(注)7対1入院基本料算定病院を「7対1」、10対1入院基本料算定病院を「10対1」と示す。有効回答数は「7対1」でn=297、「10対1」でn=316である。

## ① 1施設1日当たり平均入院患者数

	H20.6	H21.6
7対1	313.9人	<u>316.8人</u>
(参考)10対1	167.7人	162.3人

## ② 1施設1日当たり平均外来患者数

	H20.6	H21.6
7対1	573.9人	<u>590.0人</u>
(参考)10対1	291.0人	292.1人

○ 7対1入院基本料算定病院のほうが、入院・外来患者ともに多い。

## ③ 1施設当たり1ヶ月の平均全身麻酔(静脈麻酔は除く)手術件数

	H20.6	H21.6
7対1	134.5件	<u>152.7件</u>
(参考)10対1	35.2件	39.4件

## ④ 1施設当たり他の保険医療機関等からの平均紹介率

	H20.6	H21.6
7対1	43.6%	<u>44.8%</u>
(参考)10対1	25.5%	26.6%

○ 7対1入院基本料算定病院のほうが、全身麻酔手術件数が多く、紹介率も高い。

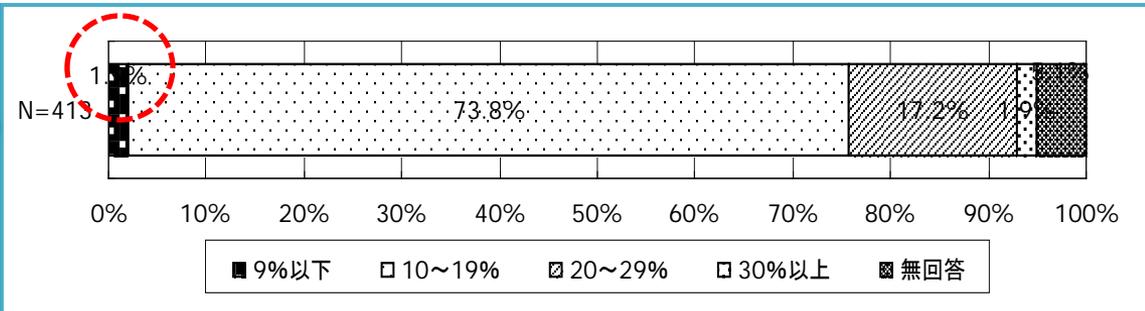
# 検証部会調査（7対1入院基本料）

一般病棟用の重症度・看護必要度に係る調査票による評価状況

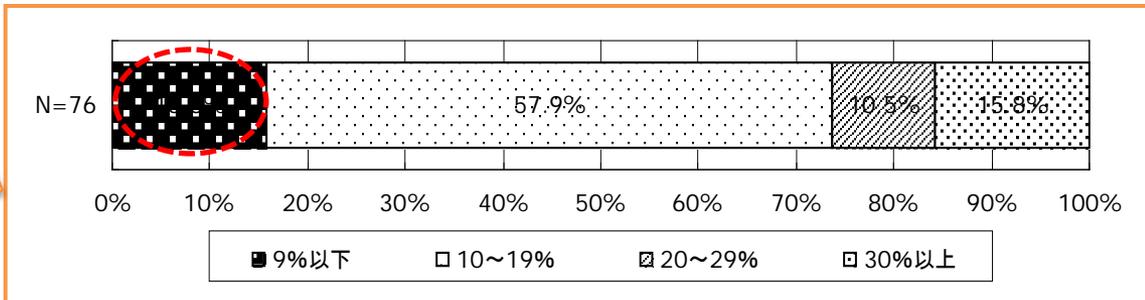
重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合の平均値（図表2-39）（有効回答n=392）

	H20.6	H21.6
7対1	17.2% (n=313)	<u>16.9%</u> (n=392)
(参考)10対1	21.5% (n=48)	19.1% (n=76)

7対1



10対1



- 7対1のほうが10対1入院基本料算定病院よりも、重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合が2.2ポイント低値であった。
- しかし、その分布で見ると9%未満の割合は、10対1入院基本料算定病院で約16%と7対1の約2%とは大きく異なっている。

(参考) 発送数に占める有効回答数の割合は、7対1で37.0%(392/1,060)、10対1で4.0%(76/1,891)

# 検証部会調査(7対1入院基本料)

## 入棟日「A. モニタリング及び処置等」得点、「B. 患者の状況等」得点の分布

7対1入院基本料算定病院(図表2-75) (有効回答n=5,947人)

		B患者の状況等に係る得点		合 計
		0~2点	3点以上	
A モニタリング 処置及び処置 等に係る得点	0~1点	58.0%	18.1%	76.2%
	2点以上	7.9%	16.0%	23.8%
合 計		65.9%	34.1%	100.0%

(参考)10対1入院基本料算定病院(図表2-76) (有効回答n=1,744人)

		B患者の状況等に係る得点		合 計
		0~2点	3点以上	
A モニタリング 処置及び処置等 に係る得点	0~1点	55.5%	20.3%	75.8%
	2点以上	9.9%	14.3%	24.2%
合 計		65.4%	34.6%	100.0%

○ 入棟日において、重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合は、7対1入院基本料算定病院のほうが1.7ポイント高かった。

# 検証部会調査(7対1入院基本料)

## 最高点時「A. モニタリング及び処置等」得点、「B. 患者の状況等」得点の分布

7対1入院基本料算定病院(図表2-81) (有効回答n=5,940人)

		B患者の状況等に係る得点		合 計
		0～2点	3点以上	
A モニタリング 処置及び処置 等に係る得点	0～1点	28.5%	18.3%	46.8%
	2点以上	13.4%	39.9%	53.2%
合 計		41.9%	58.1%	100.0%

(参考)10対1入院基本料算定病院(図表2-82) (有効回答n=1,690人)

		B患者の状況等に係る得点		合 計
		0～2点	3点以上	
A モニタリング 処置及び処置等 に係る得点	0～1点	34.4%	17.8%	52.2%
	2点以上	14.4%	33.4%	47.8%
合 計		48.8%	51.2%	100.0%

○ 重症度・看護必要度の基準の合計点数が最も高い時において、基準を満たす患者の割合は、7対1入院基本料算定病院のほうが6.5ポイント高かった。